

徹底検証・

図書館に
リクエスト!

使用済み核燃料

再処理か 乾式貯蔵か



日本で2カ所の原発で行なわれている東海第二原発の少量の乾式貯蔵。

核兵器5500発分以上のプルトニウムを溜め込んだ被爆国日本

フランク・フォンヒッペル＋国際核分裂性物質パネル(IPFM) [編]

田窪 雅文(ウェブサイト「核情報」主宰 IPFMメンバー) [訳]

◆六ヶ所再処理工場は、核兵器問題

「分離済みプルトニウムのような我々がテロリストの手に渡らぬようにしようと試みているまさにその物質を大量に増やし続けることは絶対にしてはならない」—オバマ大統領 2012年3月

「プルトニウムの最小化のために何が出来るかを各国に検討するよう奨励する」—日米共同声明 2014年3月

◆日本の再処理は核拡散の原因に

韓国は米韓原子力協力協定の交渉で日本と同じ再処理の権利を認めるよう米国に迫っている。核拡散を懸念してこれに抵抗する米国にとって日本の再処理続行計画は米韓交渉の障害。

◆再処理に固執する日本

「原発の使用済み燃料プールが満杯となってお

り、燃料を再処理工場に送り出さなければ原発の運転ができなくなる」—再処理推進派

◆解決策は、空冷式の「乾式貯蔵」容器に入れて保管すること

取り出し後5年以上経った燃料使用済み燃料は「乾式タイプの容器に入れるのがより安全だろう」—田中原子力規制委員会委員長

◆気軽に目を通そう

ひとまず、訳者あとがき、日本語版への序文、第1章「概観」、第3部「日本への提言」だけでも。その後、各国の状況や最終処分についても

◆図書館へリクエストを

ぜひ、図書館にリクエストしてください。
まずチェック⇒ <http://goo.gl/GD1FiP>
http://kakujo.net/ndata/snf_repro.html (bit.ly/snf_j)

●六ヶ所再処理工場の運転を開始すると年間1000発分が追加

●米韓交渉で日本と同じ再処理の権利をと主張する韓国